

令和4年度第1回香川県教育センター運営協議会
議 事 次 第

日 時：令和4年7月15日（金）

10:00～11:30

場 所：教育センター4階第2中研修室

1 開 会

2 所長あいさつ

3 委員紹介・事務局紹介

4 副会長選出

5 会長あいさつ

6 議 事

(1) 令和4年度事業について

① 組織・予算について

② 調査研究事業について

③ 教職員研修事業について

④ 教育相談事業について

⑤ カリキュラムセンター事業について

(2) その他

7 閉 会

教育センターの事業実施状況

I 調査研究事業

国や香川県の教育課題を踏まえた調査研究を行い、その成果を学校や教育関係機関に提供する。

令和3年度

1 研究の内容と方法

- (1) **調査研究1** ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で、深い学び」の実現に向けた調査研究
効果的な指導の在り方について、センター協力学校等で次の2つの視点で研究を進めた。

- 情報活用能力の育成
 - ・ 情報活用能力を育成するためのカリキュラムマネジメントの実践
 - ・ 教職員及び児童生徒の操作スキル向上のための日常的な活用方法
- 教科等の学習における効果的なICTの活用
 - ・ ICTの活用場面とそのポイントなどの整理

- (2) **調査研究2** 全国及び香川県の学習状況調査の結果分析

学校現場の授業改善や教育課程の見直しなどの取組を支援できるよう、全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析を行った。

2 研究成果の普及

研究成果を報告書等にまとめ、研究発表会で紹介したり、各所に提供したりして普及を図るとともに、研修等に生かして普及した。

- (1) **報告書等** **調査研究1** 研究発表冊子 **調査研究2** 報告書(2冊) Webサイトに掲載

- (2) **研究発表会**
- | | | |
|----|--------------|------------------------|
| 日時 | 令和4年2月18日(金) | 配信 |
| 内容 | 研究発表 | 研究成果を研究協力校の取組を踏まえて発表 |
| | 全体講演 | 文部科学省国立教育政策研究所 浅田和伸 所長 |

令和4年度

1 研究の内容と方法

- (1) **調査研究1** ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で、深い学び」の実現に向けた調査研究
《2年次》 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 -

効果的な指導の在り方について、センター協力学校^{(*)1}等で次の2つの視点で研究を進める。

- 情報活用能力の育成
 - ・ 情報活用能力を系統的に育む^{(*)2}、小中高の12年間を念頭に置いたカリキュラム表
 - ・ カリキュラム表に基づいた効果的なICTの活用
- 教科等の学習における効果的なICTの活用
 - ・ 「個別最適な学び」を支え、「協働的な学び」を促進する効果的な取組
 - ・ 授業中や授業後の学習評価の効果的な取組

(*)1 令和4年度協力学校：三木町立田中小学校、高松市立林小学校、善通寺市立筆岡小学校、観音寺市立高室小学校

(*)2 令和3年度香川県教育センター発表会 研究発表冊子 P45 情報活用能力の学習目標リスト

- (2) **調査研究2** 全国及び香川県の学習状況調査の結果分析

学校現場の授業改善や教育課程の見直しなどの取組を支援できるよう、全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析を行う。

2 研究成果の普及

研究成果を報告書にまとめ、研究発表会で紹介したり、各所に提供したりして普及を図るとともに、研修等に生かして普及する。

- (1) **報告書等** **調査研究1** 報告書(1冊) **調査研究2** 報告書(2冊) Webサイトに掲載予定

- (2) **研究発表会**
- | | | |
|----|--------------|----------------------|
| 日時 | 令和5年2月17日(金) | |
| 内容 | 研究発表 | 研究成果を研究協力校の取組を踏まえて発表 |
| | 全体講演 | 放送大学 中川一史 教授 |

II 教職員研修事業

1. 基本研修・職務研修・専門研修

(1) 開設講座数及び受講者数

※R2, R3 はコロナ禍により中止とした研修の受講予定者・希望者を含む。

	H30		R1		R2		R3		R4 (6月現在予定)	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
基本研修	14	653	17	867	17	839	17	896	17	889
職務研修	29	1,459	29	1,416	30	1,281	29	1,380	29	1,385
専門研修	43	1,446	43	1,491	33	378	40	693	43	1,207
連携研修					5	138	6	184	6	120
合計	86	3,558	89	3,774	85	2,636	92	3,153	95	3,601

(2) 受講者延べ人数

※集合またはオンライン(同時双方向型)で受講した人数

	H30	R1	R2	R3
	受講者数	受講者数	受講者数	受講者数
基本研修	5,294	5,370	2,420	4,078
職務研修	2,357	2,023	734	1,959
専門研修	1,665	2,456	29	443
連携研修			0	184
合計	9,316	9,849	3,183	6,664

(3) 研修に対する評価(4段階評価)

	H30	R1	R2	R3
基本研修	3.9	3.9	3.9	3.8
職務研修	3.8	3.8	3.8	3.8
専門研修	3.8	3.8	3.8	3.8
連携研修				3.6
全体	3.8	3.8	3.8	3.8

(4:たいへん参考になった 3:まあまあ参考になった 2:あまり参考にならなかった 1:参考にならなかった)

2 公開講演(研修講座の一部を公開)

※R2, R3 はコロナ禍により中止とした研修の受講予定者・希望者を含む。

	H30	R1	R2	R3	R4(6月現在予定)
講演数(計画)	15	14	11	11	11
講演数(実施)	15	14	2	8	実施済み 3
研修受講者数	895	1,119	165	892	969
希望受講者数	258	152	24	36	69
受講者数計	1,153	1,271	189	928	1,038

3 令和4年度 研修事業の主な特徴

(1) 研修の多忙感や負担感の軽減に向けた対応

- 基本研修の実質日数(オンライン研修(同時双方向型)を含む)の縮減
 - ・研修内容の精選・見直し、オンライン研修(オンデマンド型)の導入により、12種の基本研修において、計7.5日分を縮減(小中3.5日、高特4日)。
 - 初任研(全校種・全職種)、中堅I(全校種・全職種) 他
- オンライン研修(同時双方向型)の拡充
 - ・新たに新任現教主任研(小中)、中堅II(高特)に導入。
- 夏季休業中の縮減
 - ・11種の基本研修において、計6.5日分を縮減(小中2.5日、高特4日)
 - 初任研(高特)、新採養護(小中)、新採栄教(小中)、中堅I(全校種・全職種)

(2) Web 会議システムや学習支援ツールの活用等に関する研修プログラムの充実

- 基本研修 … 5種の研修において実施 → 初任研(全校種)、中堅Ⅰ(小中)、中堅Ⅱ(高特) 他
- 職務研修 … 2種の研修において実施 → 新任主幹教諭研(小中)、新任指導教諭研(小中)
- 専門研修・連携研修 … 15講座開設 (学校悉皆) 高校・特別支援学校のオンライン学習実践 (希望制) Teams 活用 他

(3) 教職大学院連携研修講座の実施(初年度 R2 は全講座中止。R3 より本格実施)

- 6講座を開設。受講者には取得の翌年度から3カ年有効の「受講証明書」を発行。
- 中堅Ⅰ(小中)、中堅Ⅱ(小中高特)の選択型研修として受講可能。また、前年度までに受講した連携研の受講証明書を使用して、中堅研の選択型研修の免除申請が可能(今年度申請者2名)。
- 香川大学教職大学院の履修単位取得が可能となる2講座(405, 406)を開設。

※R4 教職大学院連携研修申込状況

講座番号	講座名	中堅Ⅰ 小中	中堅Ⅱ 小中	中堅Ⅱ 高特	中堅 申込計	申込 総数	中堅 比率
401	資質・能力を育む教科の授業づくり	27	5	3	35	49	71.4%
402	道徳科の授業づくり	17	0	2	19	34	55.9%
403	授業支援システムを活用した学習活動の創造	1			1	5	20.0%
404	授業における特別支援教育	4	6	1	11	29	37.9%
405	学校危機管理研究Ⅰ-①	1			1	2	50.0%
406	学校危機管理研究Ⅰ-②	0	0		0	1	0.0%
中堅研受講者の連携研選択者数		50	11	6	67	120	55.8%
中堅研受講者数		168	90	69	327		↑R3は68.9%
中堅研受講者の連携研選択割合		29.8%	12.2%	8.7%	20.5%		←R3は44.0%
中堅研受講者の専門研選択者数			25	30	55		
中堅研受講者の連携研・専門研選択割合		29.8%	40.0%	52.2%	37.3%		

4 その他

(1) 新型コロナウイルスの影響による令和4年度の研修実施について

- 集合研修を中止とする基準
 - ・現時点においては、香川県独自の警戒レベルが「3 感染拡大防止対策期」以上となった場合は、学校が通常授業を継続していても、集合研修は中止としている。
- 集合研修が中止となった研修の取扱い
 - ・可能な限り、オンライン研修(同時双方向型)として実施する。
 - ・県教育センターが指定する研究会や発表会などへの参加型研修が中止となった場合は、センターに連絡の上、協議する。

(2) 今後の検討事項

- 令和5年度に向けた研修の企画について
 - ・働き方改革やコロナ禍における受講スタイルの多様化など、時代の変化に対応した研修の企画。
 - ・GIGAスクール構想に基づく新しい授業づくりに対応するためのICT活用能力向上を目指した研修の充実。
 - ・中堅Ⅰの受講者が初めて中堅Ⅱの対象者となる(R4は旧5経受講者)ため、中堅Ⅱの研修内容の見直しが必要。
- 教員免許更新制廃止に伴う検討事項(各課と連携)
 - ・教員研修履歴の一元管理(教員個別の研修受講履歴を管理するデータベースの整備)
 - ・教員研修計画の見直し(教員免許更新制廃止、香川県教育基本計画の策定に関することを反映)

■教員のキャリアステージと研修（令和4年度）

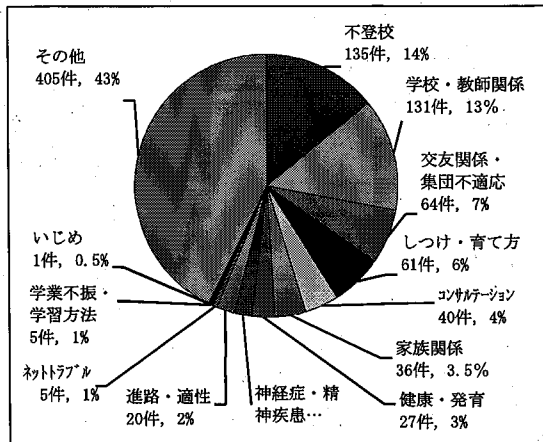
キャリアステージ	基礎期		発展期	深化期
			指導教諭・主幹教諭・管理職候補者	
目安となる経験年数	1年目～6年目		7年目～20年目	21年目～
指標の観点 素養・資質 使命感・責任感 コミュニケーション 自己研鑽 子供理解 学習指導 生徒指導 学校づくり 連携・協働 参画・運営 危機管理	<p>教員としての基礎固め</p> <p>とミシド のり 推し 進 ダ カ !</p> <p>助 熟 練 教 員 と し て の 指 導</p>			
	<p>研修</p>			
基本研修 教職経験に応じた素養・資質の高揚、知識・技能の習得、連携・協働によるマネジメント力の涵養など、実践的指導力の向上を図るための指定研修	【初任者研修】 職務遂行に必要な実践的指導力や使命感の育成とともに、チーム学校の一員としての意識の涵養を目指す。 【教職1年経験者研修】 日常的な教育活動を通して、主体的な研修態度を育成し、学習指導をはじめとする実践力の一層の向上を目指す。	【中堅教諭等資質向上研修Ⅰ】 学習指導、生徒指導、学級経営の実践力の向上とともに、マネジメント力の育成を目指す。 【中堅教諭等資質向上研修Ⅱ】 自己の教育実践を様々な角度から振り返るとともに、カリキュラムマネジメントの視点からのミドルリーダー育成を目指す。	【教職20年経験者研修】 学校運営を推進するための経営的視野に立つ職見の獲得と指導力の向上を目指す。	
職務研修 職責・職能に応じた知識・技能の修得、職務遂行能力の向上を図るための指定研修	新任講師・養護助教諭研修 新任現職教育主任研修会 新任生徒主事研修会 小・中学校教育指導研修	新任主幹教諭研修会 新任指導教諭研修会 新任教務主任研修会	新任校長研修会 新任副校長研修会 新任教頭研修会	新任特別支援教育担当教員研修会、新任保健主事研修会、新任司書教諭研修会、新任特別支援教育コーディネーター 栄養教諭・学校栄養職員研修会、学校事務職員各種研修会
専門研修 教育課題の解決に向けた自己研鑽のための資質・能力の向上を図る希望研修等	【学習指導】 学力調査結果の課題対応、各種授業づくり、外国語教育推進、道徳教育推進 など 【生徒指導・教育相談】 いじめ・ネットトラブル対応、教育相談事例対応、教育相談体制づくり など 【情報教育】 ソフトウェア活用、ICT端末・学習支援ツールの効果的な活用、プログラミング教育 など 【特別支援教育】 障害種別対応研修 など 【学校経営】 学校組織マネジメント、防災教育 など 【その他の教育課題】 環境教育、学校保健、学校給食危機管理及び食育推進 など			
教職大学院連携研修	香川大学教職大学院の科目及び授業の一部との連携により、教員としての専門性の向上を図るために行う選択研修。			
研修サポート	学校等からの要請により、県教育センターの指導主事等が研修会場に出向いて、学習指導や学校課題等の研修支援を行う。			
オンライン研修	校内研修、自己研修等において、オンライン研修教材を活用することによる教職員個々の資質・能力の向上を図る研修。			
若年教員の授業力向上	教職2～5年経験者は、所属校以外を含む、他の教員が行う公開授業に積極的に参加し、自らの授業力向上に努める。			

Ⅲ 教育相談事業

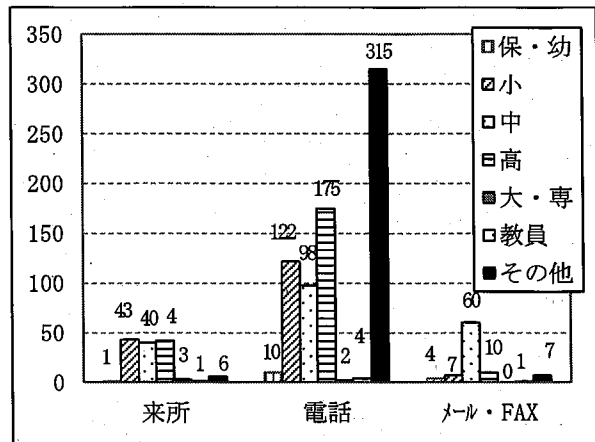
1 相談活動

(1) 令和4年度相談件数(4～6月)

令和4年度4月から6月の相談件数は951件で、前年度同時期に比べ159件増加した。主訴別では、割合の高い順に「不登校」「学校・教師関係」「交友関係・集団不適応」となった。「学校・教師関係」は昨年度と比べ約1.3倍に増加した。「その他」は昨年度と比べ約1.8倍に増加した。「その他」は昨年度減少傾向にあったことと主訴分類の難しい相談が増加したことが要因として考えられる。「コンサルテーション」では、学校の管理職等から困難な事案への対応方法について助言を求められるケースが増え、40件となった。校種別では高等学校の相談が最も多くなった。



【主訴別相談件数(電話、来所、メール)】

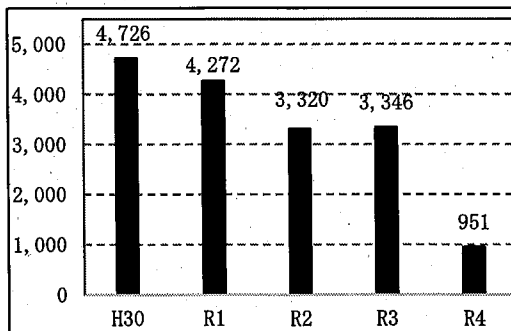


【相談方法別相談対象内訳】

(2) 相談件数推移

① 全体(H30～R4)

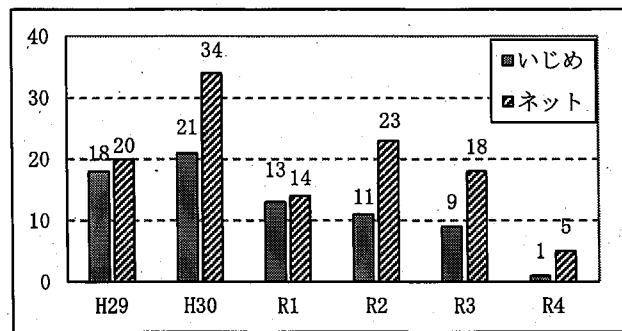
27年度に教育委員会における各種の相談窓口を教育センターに一元化してから、相談総件数は増加傾向にあったが、令和元～3年度は減少が続いた。いじめ、虐待、自殺企図の相談については、関係機関と緊急連絡体制を構築し問題解決に向け迅速に対応している。



【総相談件数推移(R4は6月末まで)】

② いじめ、ネットトラブルに関する相談(H30～R4)

いじめの相談については、学校に相談しても思うような解決に繋がらないといった相談が多かった。ネットトラブルに関する相談は、現実の人間関係の悪化からSNSへの書き込み等につながったと思われる相談やネットやゲームを長時間行うことで生活への影響や課金について心配する保護者からの相談などがあつた。



【いじめ、ネットトラブル相談件数推移(R4は6月末まで)】

2 支援活動

(1) 学校支援アドバイザー派遣

福祉や心理の分野において専門的な知識・技術を有する者(2名)を、学校や市町教育委員会からの要請に応じて派遣し、教職員等への助言及び援助を行っている。令和3年度は183回実施し、270件のケースを取り扱った。

(2) 教職員等へのコンサルテーション

教職員等に、教育センターの職員等が教育相談に関する専門的な助言を行う。令和3年度は校内ケース会議への出席や電話や来所での助言を102件実施した。

(3) 教育相談研修サポート

教育相談に関する校内研修会等への講師派遣や資料提供を行う。令和3年度は14件実施した。

(4) 参考資料・指導資料の提供(※教育センターWebサイトに掲載)

「心と身体とチェックリスト」：突然の災害や事故、事件等に遭遇した子どもたちのサポートのためのチェックリスト、教職員向けの実施留意事項、家庭での関わり方や観察のポイント。

「教育相談のいろは」：教育相談に関する基本的な事項とともに6事例とその対応の考え方を紹介。

「コラムde教育相談」：子どもや保護者との教育相談的な関わりについてのコラム集。

「子どものための自殺予防」：自殺の危機が高まった子どもに対する関わり方について紹介。

Ⅳ カリキュラムセンター事業

1 研修サポート

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)	内訳				
														協力学 校	校内 研修	教育研 究団体	県市町 教育委 員会	初任研 長期研 その他
R元	2	21	125	50	19	45	75	103	29	16	13	0	498	83	201	55	31	128
R2	2	23	104	32	15	48	75	76	24	14	22	6	441	47	173	27	15	179
R3	4	21	101	54	8	25	85	93	16	3	4	4	418	58	100	46	9	205
R4	0	11	102										113	16	21	8	4	64

2 研究相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
R元	22	27	48	41	47	31	34	30	29	32	39	19	399
R2	32	39	31	32	33	30	29	20	26	26	20	36	354
R3	67	58	52	29	38	40	29	31	27	22	22	22	437
R4	31	30	38										99

3 学校教育力総合支援事業(さぬき学びの支援隊) ※R4.6月末現在(R4.7月以降は予約済分)

	教員			事務職員			合計(実数)		
	登録者数 (人)	派遣学校 数(校)	派遣時間 数(時間)	登録者数 (人)	派遣学校 数(校)	派遣時間 数(時間)	登録者数 (人)	派遣学校数 (校)	派遣時間数 (時間)
R元	284	115	7,558	22	7	400	306	117	7,958
R2	302	111	6,989	24	8	460	326	115	7,449
R3	324	116	6,594	25	12	548	349	124	7,142
R4	339	109	6,143	28	10	600	367	115	6,743

4 Webサイト(トップページへの延べ訪問数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R元	6,786	6,501	4,882	6,227	4,401	4,322	4,051	4,156	5,472	6,768	4,576	5,167	63,309	5,276
R2	21,258	18,116	7,044	6,635	7,666	5,013	4,364	5,534	5,623	4,025	3,614	4,080	92,972	7,748
R3	7,221	5,930	4,844	6,513	10,980	5,240	5,168	3,161	5,638	3,917	2,697	2,447	63,756	5,313
R4	8,876	6,772	6,072										21,720	7,240

5 施設開放(利用団体数及び利用者数) ※R4.6月末現在(R4.7月以降は予約済分)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R元	団体数	11	17	13	12	12	8	8	11	3	12	19	4	130
	利用者数	322	760	325	483	641	309	250	573	89	367	444	133	4,696
R2	団体数	8	6	9	10	7	10	15	13	9	11	15	5	118
	利用者数	271	196	160	202	225	224	266	505	310	173	430	129	3,091
R3	団体数	7	11	10	15	5	5	13	16	5	5	5	2	99
	利用者数	144	253	262	356	91	82	283	709	188	97	149	37	2,651
R4	団体数	10	19	11	18	3	9	5	8	5	5	8	2	103
	利用者数	266	768	351	452	166	358	119	365	157	207	279	37	3,525